

科目名 認知症看護	授業担当者 仲野谷 美貴子	所属 中通総合病院	
開講時期 :前期～中期	単位数 :1 単位	時間数 :15 時間	
授業の目的 認知症・せん妄の病態および基礎知識を学び、対象に応じた看護ができる能力を養う			
授業の概要 2040 年には、認知症患者と軽度認知症の人を合わせると、3 人に 1 人が認知機能低下の症状を有するといわれている。急性期病院においても認知症症状を有する高齢者の入院の割合が高くなっている。認知症高齢者は入院後、せん妄の発症リスクが高く、行動・心理症状も悪化しやすい。また、転倒・転落などの医療事故を重視し身体拘束を実施することで、様々な弊害が生じ入院が長期化する傾向にあり、身体拘束の最小化に向けた取り組みが推進されている。 認知症高齢者が住み慣れた地域へ戻るためには、急性期医療を提供すると同時に、適切な認知症患者への対応が求められる。そのため、認知症の病態やせん妄を理解するとともに、認知症高齢者を 1 人の生活者として捉える視点を持ち、個人の尊厳を保つ関わり方を学んでほしい。			
受講上の注意・事前学習の内容 資料や教科書などに目を通し、学習内容に関してイメージできていることが望ましい。そして、ロールプレイや演習では時間管理の他、社会人基礎力の中にある「チームで働く力」を特に意識して受講に臨むこと。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	認知症の疾患と特徴、治療について	講義	
2	認知症の看護とせん妄について	講義	
3	身体拘束の体験学習	講義・演習	
4	認知症高齢者との関わり方	動画視聴	
5	認知症高齢者との関わり方	ロールプレイ	
6	認知症の予防、家族への支援とサポートシステム	講義	
7	認知症高齢者の意思決定支援	講義	
8	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 老年看護 病態・疾患論 医学書院			
参考書・指定図書 急性期病院で治療を受ける認知症高齢者のケア 日本看護協会出版社 認知症ケアの倫理 ワールドプランニング			
評価の方法 筆記試験、授業態度およびロールプレイの取り組み状況と内容から総合的に評価する			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります